

(第二啓佑学園)

	評価結果後改善が求められる点と改善策
1	<p>&lt;より質の高いサービスの提供にむけたマニュアルの整備&gt;</p> <p>利用者個別の実施方法を記載したマニュアルは完備されているが、対象となるサービス、種目別の一般的なマニュアルにばらつきがある。</p> <p>チームで提供されるサービスの質の向上促進には、共通の理解、方針の共有が求められる。これまでの経験を生かした業務の効率化、標準化に向けたマニュアル作りに取り組む事が望まれる。</p> <hr/> <p>・食事、排泄、入浴等各支援場面ごとのマニュアルを作成し共通理解を深め質の高いサービスを提供できるよう努めていきます。 (支援マニュアル、平成24年2月作成済み)</p>
2	<p>&lt;浴室の環境整備&gt;</p> <p>重度・最重度の利用者が多いなか浴室のつくりは安全面への配慮が不十分である。</p> <p>改善には予算が伴うが、高齢化・重度化を視野に、快適で安全なサービスの確保に向け、中長期計画にその必要性を位置づけて改善に取り組まれる事を期待する。</p> <hr/> <p>・大規模の改修工事は、現時点では難しいが、手すり設置や、滑りにくい床、介護用イスの検討を行いながら転倒防止に努めて行きます。 ・浴槽、洗い場等の角にゴム等でカバーを行い、安全面の配慮をします。 ・長期的には重度化、高齢化に対しての予算化をしながら、浴室内の構造、設備の改善、充実を図って行きます。</p>